

Japan
Demining and
Reconstruction
Assistance
Center

JDRAC

特定非営利活動法人 日本地雷処理・復興支援センター



JDRACについて

About us JDRAC

私たちJDRACは、PKO協力法により2002年に東ティモールに派遣され、国づくりを支援した陸上自衛隊の活動を引き継ぐため、自衛隊OBを中心に2003年に結成されました。PKO活動終了と共に東ティモールに譲渡された資機材等を、現地の人たちの手で維持管理できるよう、技術者を育ててきました。その後、約20年にわたり次世代を担う人材の育成に取り組んでいます。

アジアで一番若い国、東ティモール民主共和国

インドネシアの南東に位置する島国で、2002年に独立した、手つかずの自然が残る美しい国です



首都 ディリ

宗教 キリスト教99%

人口 約130万人 (2021世界銀行)
46%が18歳以下

言語 公用語
テトゥン語・ポルトガル語
(実用語にインドネシア語・英語)

面積 約1万4,900km²
(岩手県とほぼ同じ)

JDRACの歩み

History of JDRAC

組立ハウス技術者養成事業



(外務省事業 2004.7-2006.8)

自衛隊撤退時に供与された組み立て式建物の技術者を養成。35名の卒業生は全員、公共事業省等に雇用され、組立ハウスは現在も使われています。

不発弾処理事業



(外務省事業 2005.5-2009.12)

国連からの要請を受け、東ティモール警察に対し、国内に残る不発弾の処理教育を実施。40名の卒業生は、警察の特殊部隊として活躍しています。

自動車整備士養成事業



(外務省事業 2011.2-2013.12)

多くの車両整備を外国人整備士に頼っていた東ティモールで、若者たちを対象に教育を実施。3年間で90名の自動車整備士を養成しました。

東ティモール国軍への自動車整備能力構築支援



(防衛省事業 2012.11-2014.3)

防衛省の委託を受け、東ティモール国軍21名に対し、自動車整備士教育を実施。災害救助・人道支援における能力構築支援を目的に実施されました。

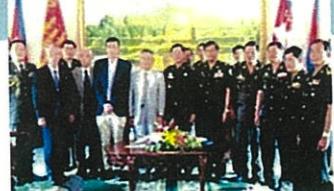
自動車検査員養成事業



(外務省事業 2016.3-2019.1)

東ティモールでは、整備不良に起因する交通事故が多発していることから、車検場検査員など15人に対する教育を実施。検査員の能力が向上し、車検制度を啓発しました。

地雷・不発弾処理現地調査



(防衛省事業 2016.7-2017.1)

防衛省の委託を受け、ベトナム、カンボジア及びラオスの3か国における、地雷・不発弾処理の現地調査を実施しました。

最新の事業

Project in progress



東ティモール

大型自動車整備士および建設機械整備士・オペレーター養成事業

伝えるのは「技術」だけじゃない

- 期間 2020年3月～2023年7月
- 対象 公共事業省 資機材管理局
- 人数 整備士等60名（延べ）
- 目的 整備及び操作に必要な知識と技能を習得し、経済発展基盤整備の向上を図る

※外務省NGO連携無償資金で実施しています。



最新の活動情報は
jdractl で検索

資機材管理局は、PKO撤退時に最も多く資機材を供与された機関です。現在は、建設機械関連180台を有し、地方道路の開通や災害復旧など、人々の暮らしや命を守る重要な役割を担っています。

建設機械の維持管理には高度な知識と技術が必要ですが、東ティモール国内にはそのような教育環境が整っておりません。JDRACは大手建設機械メーカーのOB 2名を派遣し、電子回路や油圧等の座学や部品交換、故障の診断などの実習を行っています。

研修を通じて、職員には技術力向上のみならず、意識の変化が生まれています。「故障したら修理する」という考え方から「日常の整備点検で故障を予防できる」と変化してきています。安全に、長期にわたり機械を使うために重要なマインドを根付かせることも、私たちの大切なミッションです。

現地スタッフの声 「JDRACは東ティモールと日本の架け橋」



はじめまして！研修助手のAfonso Dos Santos Barretoです。

JDRACの自動車検査員の研修を受講したことがご縁で、2020年に入職しました。現在は、日本人教官の指導の下で教壇に立っています。工学系大学を出したものの自分の知識と技術に未熟さを感じていた私ですが、JDRACと出会い、自信と誇りを持てるようになりました。教官が様々な仕事を任してくれることが、大きなモチベーションです。夢は、自分で整備場を開いてJDRACのような研修を広めること。大学を出ても就職難であるこの国で、一人でも多くの人が手に職をつけ、自ら歩んでいくための力になりたいと考えています。

日本への留学生受け入れ事業

人材育成と並び「平和構築」を理念に掲げるJDRACでは、次世代を担う若者的人材育成として2022年より本事業を開始しました。

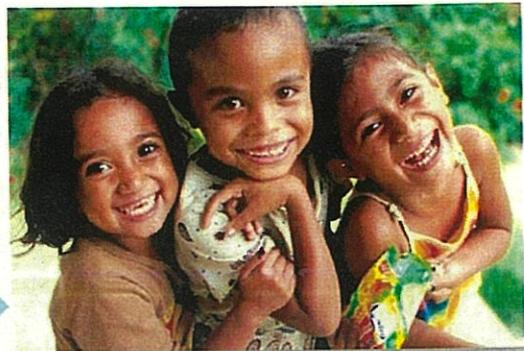
海外の高校生と、日本の高校生やボランティアの受け入れ家庭が共に学び生活することで、相互理解と友好を深めることが目的であり、彼ら、彼女らが互いの国を敬い、国際親善の役割を果たしてくれるものと確信しております。

2022年には3か国から9人を日本各地で受け入れております。



日本からできる支援

Support from Japan



1.会員になって応援

年会費 法人会員：30,000円
個人会員： 3,000円

2.寄付で応援

ご寄付は随時受け付けています

ゆうちょ銀行【店名】〇一八(ゼロイチハチ)【店番】018【口座番号】普通 4725307
特定非営利活動法人 日本地雷処理・復興支援センター



JDRAC副理事長（元第4次東ティモール派遣施設群長） 川又弘道より皆様へ

東ティモールは独立以前に国家であった歴史はありません。まさしくゼロからの国造りは未知の壮大な事業です。自衛隊の宿营地を訪れた初代大統領グスマオ閣下は私に「東ティモールの発展には人の育成、教育が大事である」と仰っていました。

2022年、二十歳を迎えた東ティモールは人間で言えば大人になったと言えますが、人材育成はまだ道半ば、さらに資源に乏しく産業の育成やインフラ整備も思うように進まず、未だ国際社会の支援を必要としています。JDRACは東ティモールのみならず発展途上国などの若者が夢のある未来を描けるよう、引き続き各種事業を展開して参ります。

皆様にはJDRACの活動に対する理解とご支援を宜しくお願いします。

3.東ティモール産オーガニックコーヒーを飲んで応援

プレミアムな薫りと味わい

実は、コーヒー栽培は東ティモールの主要産業。甘みと酸味のバランスがよく、まろやかな風味が特徴の東ティモール産は、コーヒー通の間で密かな人気を集めています。

農薬に頼らず、昔ながらの手作業で生産者が丁寧に手摘み。真っ赤に熟した果実だけを厳選したこだわりの豆は、世界に流通する中で数%しか名乗ることのできない高品質で希少な「スペシャルティコーヒー」に認定されています。ギフトセットなどもご用意しておりますので、ぜひご利用ください。



粉末コーヒー豆 (200g)
ドリップバッグ
商品の一例



ご購入はJDRACのHPから

お買い上げ金額の一部はJDRAC
が実施する各種人材育成事業に
役立てられます。



JDRAC



■本部
〒102-0082 東京都千代田区一番町6番3号
ライオンズマンション310号
TEL:03-3239-6085 FAX:03-6380-8268
E-mail: info@jdrac.org

■東ティモール事務所
Instituto de Gestao dos Equipamentos(IGE)
Rua Jacinto Cândido, Colmera Dili,
Timor-Leste